



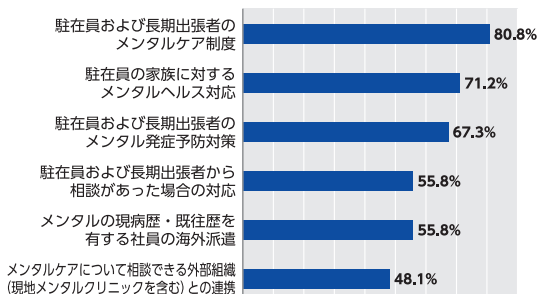
メンタルヘルスについて活発なやりとり

——日外協 第1回 海外健康・医療グループ研究会

7月25日、第1回 海外健康・医療グループ研究会がオンラインで開催され、27社(31社中)から44人が参加した。

テーマは「海外駐在員・帯同家族および長期出張者のメンタルヘルス」。研究会実施に先立ち研究会メンバーに「他社の取り組み事例に関し知りたい・興味ある項目」(複数選択可)を聞き、回答の多かった6項目(グラフ)について、代表8社による事例報告と質疑応答が行われた。

他社の取り組み事例に関し知りたい・興味ある項目 (複数選択可、30社52人から回答)



質問が多く各社の関心の高さがうかがえたのは、次の3点。1つ目はストレスチェックについて。2つ目は外部相談組織をどのように選ぶのか。3つ目は既往症のある人を派遣するかどうかの判断基準について。

終了後、研究会についての感想をアンケート形式で聞いたところ、全参加企業から回答が寄せられた。

「他社の事例が聞けた」「各社の健康・医療に携わる医療職や管理部門と情報共有できた」「他社の課題を聞けたことで自社の取り組みを検討するヒントが得られた」など、おおむね好評だった。一方、運営面では「もう少し項目を絞って深掘りしてほしい」といった指摘も受けた。

今後改善を図り、グループ研究会メンバーの有益なプラットフォームを目指すとともに、研究会へのさらなる参加を呼びかけていきたい。

(日外協 海外健康・医療センター) ■

ものづくりオンライン検定

「ものづくりオンライン検定」(MOK)は、海外に進出した日系企業(製造業・サービス業)に就職を希望している人や、日系企業のもので現場で働く現地スタッフに必要とされる日本語能力の習得・向上を目的とした、オンライン自習講座と自主検定からなる教育訓練体系です。

MOKの講座視聴、検定および認定は全て

ウェブサイト上で実施され、受検者はいつでもどこでも、スマホやタブレット、PCで一連のプロセスが完結できるように設定されています。

QRコードを読み取ることで、すぐに案内動画をご覧ください。



ご案内動画

(一般社団法人ものづくり日本語検定協会) ■